

喜多アカデミー



公開講座

喜多流の悪魔拂
乾

喜多流の伝書を読む

『音曲悪魔拂』をテキストに

講師

高林 白牛口二
たかばやし じろうじ

(能楽喜多流シテ方)

日時

2019年 6月20日(木) 9月19日(木) 12月12日(木)
2020年 3月19日(木) 全4回・各回とも14:00~15:30

会場

喜多能楽堂

チケット

各回 2,000円(全席自由/税込)

お問合せ

喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813 FAX. 03-3491-8999 喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団 助成：文化庁文化芸術振興補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



喜多能楽堂では今年度より人材養成事業の一環として日々稽古に励んでいる若手喜多流能楽師を一同に集めた集中研修「喜多アカデミー」をスタートしました。このアカデミーでは実技研修のみならず喜多流に代々引き継がれてきた「伝書」を読む講座をカリキュラムに加えましたが、このたびこの講座を一般の愛好者にも公開するはこびとなりました。

今回テキストに採用するのは喜多流九世宗家古能健忘斎が天明七年に著した「音曲悪魔拂」です。喜多流独自の謡の技術を網羅した伝書として貴重な一書を、喜多流能楽師の高林白牛口二師を講師に迎え、若手能楽師と共に実演者の立場から読み込んでいきます。

本来は秘伝としてなかなか目にすることの出来なかった伝書を能楽師と共に読んでいくという他に類を見ない講座です。愛好者の皆さまにも関心をもっていただける企画かと存じます。ご参加をお待ちしております。

◆ **講師：高林白牛口二**（たかばやし こうじ）

能楽喜多流シテ方。1935年高林吟二の次男として京都市に生まれる。本名高林皓二。父吟二に師事。38年「飛鳥川」子方で初舞台。40年十四世喜多六平太がシテの「隅田川」で子方を勤める。47年「猩々」で初シテ。その後、57年「猩々乱」同年「翁」68年「望月」69年「道成寺」98年「卒都婆小町」2002年「石橋」09年「鸚鵡小町」12年「伯母捨」を披く。京都を拠点に、古風な芸風を伝える京都の喜多流継承に長く尽力している。能のシテよりは2016年4月「江口」を最後に引退。同年より「高林白牛口二の謡を聴く会」を開催。98年大阪府知事表彰、00年重要無形文化財総合認定。2019年第二十八回「催花賞」受賞。シテ方の受賞は初めてである。

◆ **講師メッセージ**



能楽関係の勉強講座は巷間に多々ありますが大部分は学者が学術的に説く講座です。玄人として研修中の者対象としてしかも実演者が自分の体験を基に解説するのは初めての試みと云っても良いでしょう。特に喜多流の伝書を取り上げるのは斯界で最初と思います。私は一般的ではない経歴を辿り80年の能役者としての歴史を刻んで来ました。独自の観点と体験を基としてこの講座を進展して行きたいと思っています。

高林白牛口二

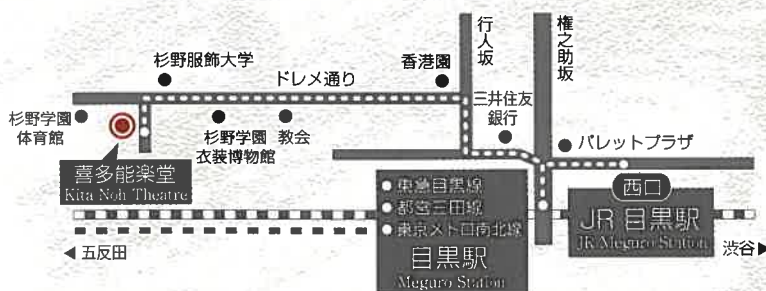
◆ **お申込み**（※ 資料を用意しますので、事前のチケット予約購入をお願いいたします。）

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com>（要事前登録・登録料無料）

Tel: 03-3491-8813（10:00～18:00 休館日あり）

※ご予約のチケットをコンビニでお受け取りの場合は別途発券手数料がかかります。

◆ **会場：喜多能楽堂** 〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。